

# 序章 成田市の景観特性

## 1. 成田市の概況

成田市は、首都東京から東に 50km の千葉県北部中央に位置しています。市域は、東西 20.1km、南北 19.9km、面積は 213.84km<sup>2</sup> で、北は神崎町、利根川を隔てて茨城県、西は栄町、印旛沼を隔てて印西市、南は酒々井町、富里市、芝山町、東は多古町、香取市に接しています。

本市には、西側を流れる根木名川、東側を流れる大須賀川を取り囲む広大な水田地帯と、肥沃な北総台地に畑地帯が広がっており、これらの農地や山林の面積が市域の約7割を占めています。また、西部には県立印旛手賀自然公園である印旛沼があり、豊かな自然を有しています。

市街地は成田駅などを中心に広がり、南部には、成田国際空港があります。

本市と周辺地域は、高速道路、国道、鉄道などの広域的な交通網で結ばれ、年間約 1,000 万人の参詣客を集める成田山新勝寺や約 2,800 万人が利用する成田国際空港が、市に活力を与えており、本市は北総の中心都市として重要な役割を担っています。

### 成田市の位置・市域図

位置	極東	所字北割地先	東経	140度 28分 21秒
	極西	北須賀字中外埜地先	東経	140度 14分 57秒
	極南	南三里塚字東地先	北緯	35度 43分 24秒
	極北	小浮字流作地先	北緯	35度 54分 09秒
面積	213.84km <sup>2</sup>			
広ぼう	東西 20.1km	南北 19.9km		
標高	1m(安西地先)~42m(南三里塚地先)			

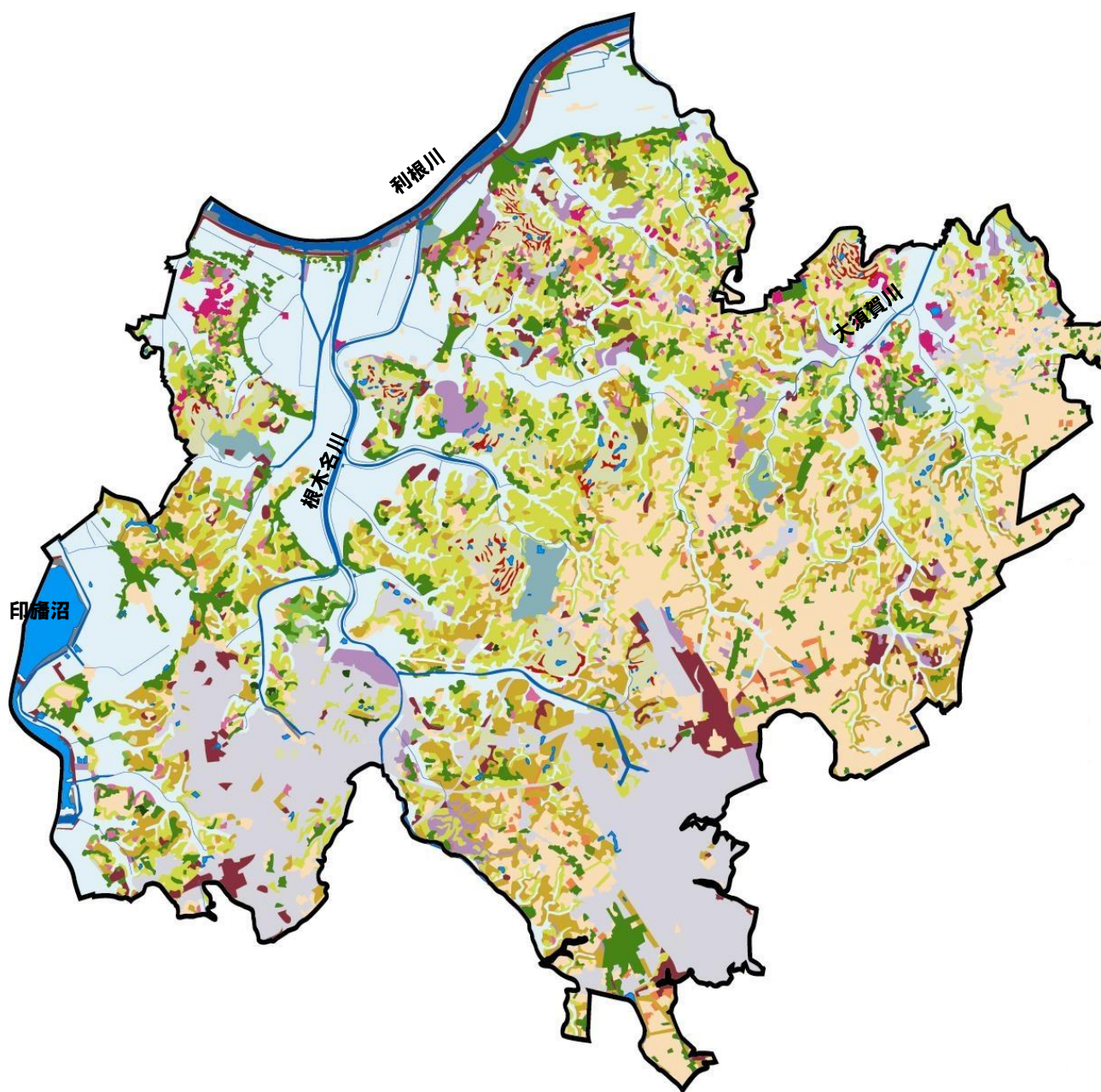
【広域位置図】



【市域図】



## 成田市の植生図



凡例	
□ 市域	■ 竹林
■ 河川・池沼	■ ゴルフ場・芝地
■ 常緑広葉樹林	■ 牧草地
■ 常緑広葉樹二次林	■ 路傍・空地雑草群落
■ 落葉広葉樹二次林	■ 果樹園
■ 低木群落	■ 畑雑草群落
■ ススキ群団	■ 水田雑草群落
■ 伐採跡地群落	■ 市街地
■ ヨシクラス	■ 緑の多い住宅街
■ スギ・ヒノキ・サワラ植林	■ 工場地帯
■ アカマツ植林	■ 造成地

出典 : 成田市環境基本計画 (平成 20 年)

## 2. 成田市の景観特性

本市の景観は、農地・山林等の自然景観地域と、市街地の都市的景観地域に大別されますが、自然、農村、歴史、市街地などそれぞれの特性ごとに整理します。

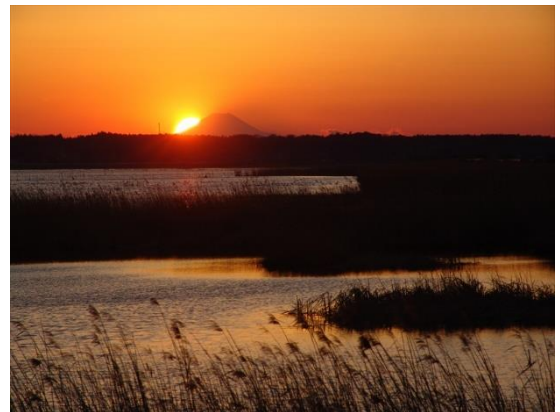
### (1) 自然景観特性

本市は、千葉県北部中央の北総台地に位置し、東部及び南部の台地と北部及び西部の低地に大別されます。台地と低地の間には斜面林が連なり、随所に谷津が見られ、農地や山林、池沼などによる自然の景観が形成されています。

また、利根川をはじめ、根木名川や大須賀川などの河川や印旛沼の水辺空間は、うるおいと開放感のある景観となっています。



田園と斜面林(谷津)



夕暮れの印旛沼

### (2) 農村景観特性

本市には、田園や里山が広く残されています。

利根川とその支川や印旛沼周辺の低地に広がる水田地帯には、台地に続く斜面林を背にした集落が形成されています。また、台地に広がる畑作地帯には、屋敷林と耕作地が一体となった景観が見られます。



収穫の風景(公津地区)



北総台地の畑作風景(冬)



北総台地の畑作風景(夏)

### (3) 歴史景観特性

市内には、荒海貝塚や長沼城址跡をはじめとした遺跡や史跡があり、この地が古くから人々の生活の場であったことがうかがえます。

西暦940年に開山された成田山新勝寺は、江戸中期以降、大勢の参詣客が訪れるようになり、その周辺は門前町として栄えるようになりました。成田山新勝寺近くの参道には、門前町の古い町家が並び、本市を代表する街並み景観が形成されています。

また、宗吾霊堂、大慈恩寺、小御門神社などの社寺と明治時代の成宗電車のトンネルが残る“電車道”といった多くの景観資源が残されています。



年始の成田山新勝寺



成田山新勝寺表参道



宗吾霊堂



小御門神社



### (4) 市街地景観特性

#### ① 住宅地の景観

##### ア. 成田駅周辺の住宅地

成田駅の東口と西口は、土地区画整理事業により整備されています。駅周辺には、飲食店などの店舗と住宅が立ち並び、表通りと、そこから一步入った小道には、昭和時代を感じさせる住宅が北総台地特有の起伏ある地形に並んでいます。



空から見た成田駅周辺

## イ. 計画的な住宅地

成田ニュータウン・公津の杜・はなのき台などの計画的に整備された住宅地は、幹線道路に多種の街路樹が植えられ、緑豊かな街並みが形成されています。

## ウ. 空港に隣接した新しい市街地

三里塚地区は、御料牧場であった三里塚記念公園を中心に、成田国際空港の代替地として整備され、住宅を中心に形成された市街地です。



はなのき台の街並み

## ②商業地の景観

### ア. 成田駅近隣の商業地

成田駅の周辺には、ホテルや集合住宅などの中高層の建築物による街並みが形成されています。成田駅から成田山新勝寺へ向かう表参道沿いの地区は、にぎわいのある商業・業務施設が集まっています。



京成成田駅東口



成田山新勝寺表参道

### イ. ウイング土屋地区の商業地

ウイング土屋地区は、土地区画整理事業により誕生した商業地区です。JR 成田線と国道 408 号に挟まれたこの地区は、空港からのアクセスもよく、北総地域の新たな拠点として国内外から多数の買い物客を集めています。



ウイング土屋の大規模商業地

### ウ. 住宅地内の商業地

成田ニュータウン赤坂地区や公津の杜駅周辺地区は、地域の拠点商業地区として、多数の買い物客を集めています。



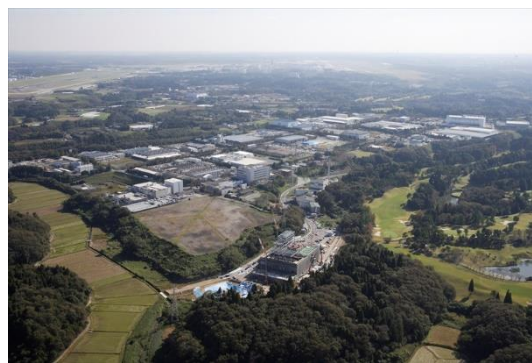
成田ニュータウン赤坂地区

### (5) 工業団地の景観

野毛平工業団地、豊住工業団地、大栄工業団地、成田新産業パークには、空港関連企業などが誘致されています。周辺は森林や農地などの緑地に囲まれ、周辺環境に配慮した緑化が図られています。



豊住工業団地



野毛平工業団地

### (6) 成田国際空港と周辺の景観

成田国際空港は、日本の空の表玄関として多くの人に利用され、国内外からの来訪者でにぎわっています。また、広大な空港施設を有し、独自の景観を形成しています。

成田国際空港の周辺や国道 295 号などの沿道には、ホテル等が立地し、本市の他の地域とは異なる景観となっています。

滑走路に隣接する“さくらの山”は、桜の名所として、また、航空機の離発着を眺めることができる観光スポットとしてにぎわっています。



国道 295 号



さくらの山から見る成田国際空港

## (7) 道路・鉄道からの景観

### ①道路

計画的に整備された幹線道路は、ケヤキや桜などの街路樹により、季節が感じられます。また、美郷台やウイング土屋などの幹線道路では郊外型店舗など様々な建物が立ち並びにぎわいを感じることができます。

市街地から少し走ると、田園・畑作地帯となり、農村景観が広がります。



ケヤキ並木(成田ニュータウン)



道路からの田園の眺め(豊住地区)

### ②鉄道

鉄道路線は、JR 成田線、京成本線、成田スカイアクセス線が市域を十字に走っています。

市街地を抜けると広大な自然景観を車窓から眺めることができます。特に成田スカイアクセス線の車窓からは、印旛沼の景観を望むことができるほか、印旛沼に架かる橋は、県立印旛手賀自然公園の景観に配慮したものとなっています。



車窓からの眺め(JR成田線)



印旛沼と成田スカイアクセス線



車窓からの眺め(JR成田線)